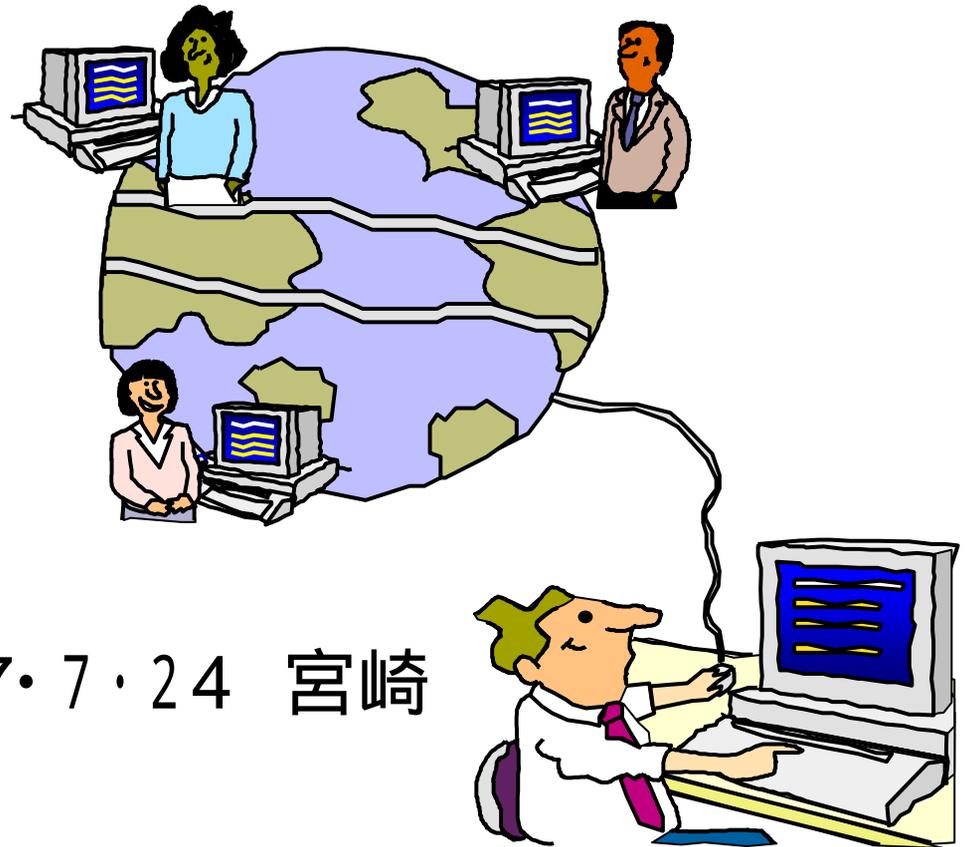


Being Digital

ビジネスブログのすすめ



2007・7・24 宮崎

本日のお題
なぜ
情報を発信する
必要があるのか
それもブログで。

私はインターネット
を
観察し続けてきました

なぜなら
インターネットには
少し先を行く
現実（環境と原理）
があるからです

経営 = 環境 × 原理

経営とは
環境と原理の乗数
でしかありません

建設業を
取り巻く環境は
厳しさを
増しています。

グローバリズム 金融資本主義

二極化 分断された経済

グローバル経済圏への接続
(勝ち組)

ドメスティック経済圏
(負け組)

私は10年前に
Webに出会いました

インターネットの精神文化

自発性 (ボランティア)

草の根 (グラスルーツ)

開放系 (オープン)

それは
夢のようなもので
でした

が

今建設業が置かれて
いる環境と原理を
示唆して이었습니다

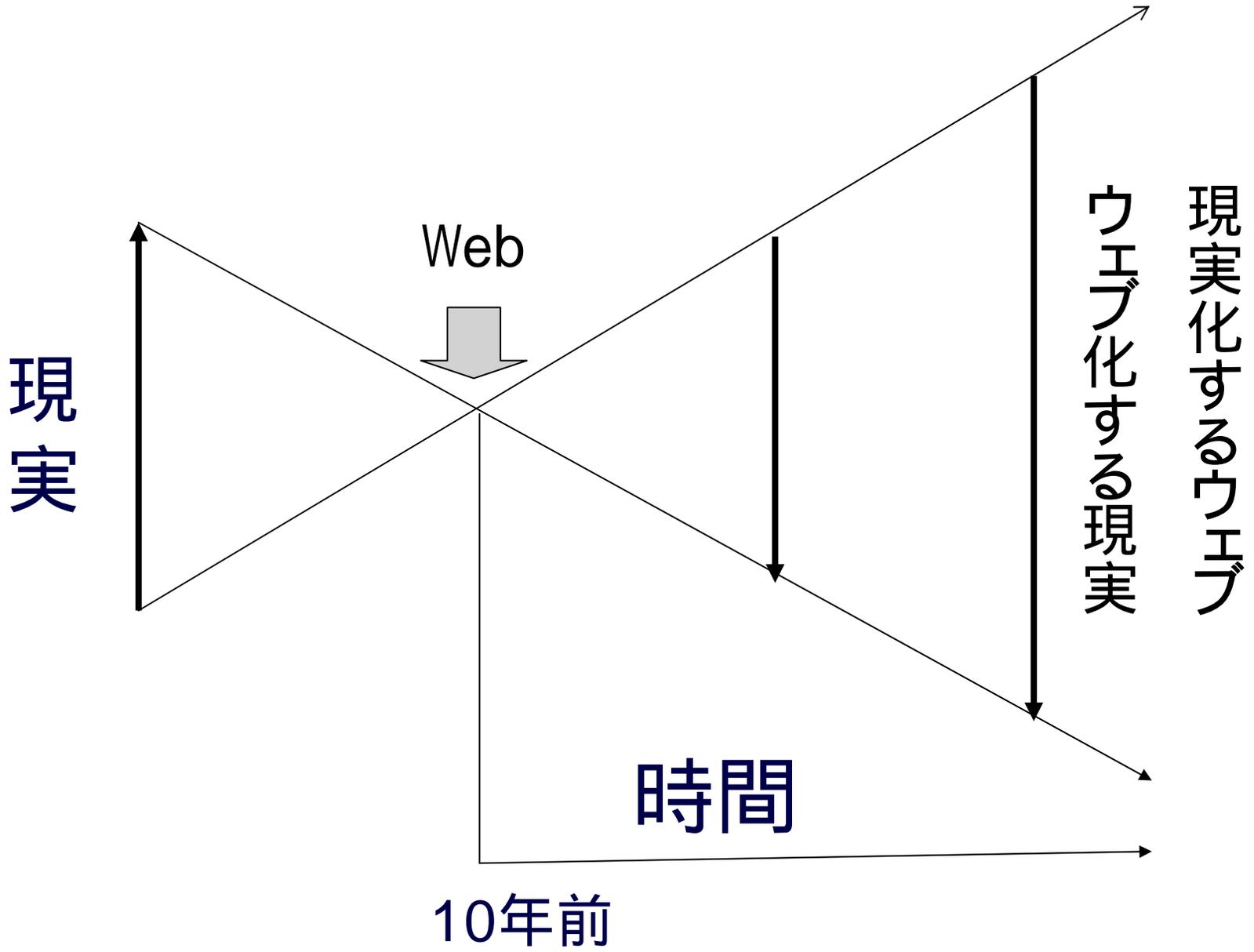
それから10年
が
過ぎました

Webとリアルの
境界は
もうありません

時代はかわる。

もう
かつてのような
時代に
もどることもない
でしょう。

キアスム交差図式



そんな時代が
我々に要求しているも
のがあります。

目的 / 目標 の差異 の理解

グローバル리즘と
金融資本主義は
ムラ社会的
共同体性を破壊します。

と同時に
ムラ社会的
ルール、規範、慣習も
破壊します。

外部装置としての法令
と
その遵守の強調

コンプライアンス

しかしそれは
そんなに
単純な
ものでもありません。

企業の目的は
お金儲けである。

このテーゼは正しい
のでしょうか。

お金儲けは

目標です。

目的ではありません。

P・F・ドラッカー

企業の目的は
顧客の創造である

私達は
長い間、目的がなく
とも
なんとかなる時代に
生きてきました。

開発主義(戦後経済)は
破壊されました。

二度とやってこない
と考えたほうがよいでしょう。

腹を括る

理念(哲学)なき
人には
目的がありません

しかし今は
理念(哲学)なき
人には
生き辛い時代です

何人も家卑の前で
は英雄足りえず

情報の対象性

それは
インターネットの
傾向として
あったものです。

Web2.0

現実化するWeb / Web化する現実

あれば便利だなと思うものが
Webにある。

それも無償で。

Google

無料經濟

限定経済学

贈与 / 交換

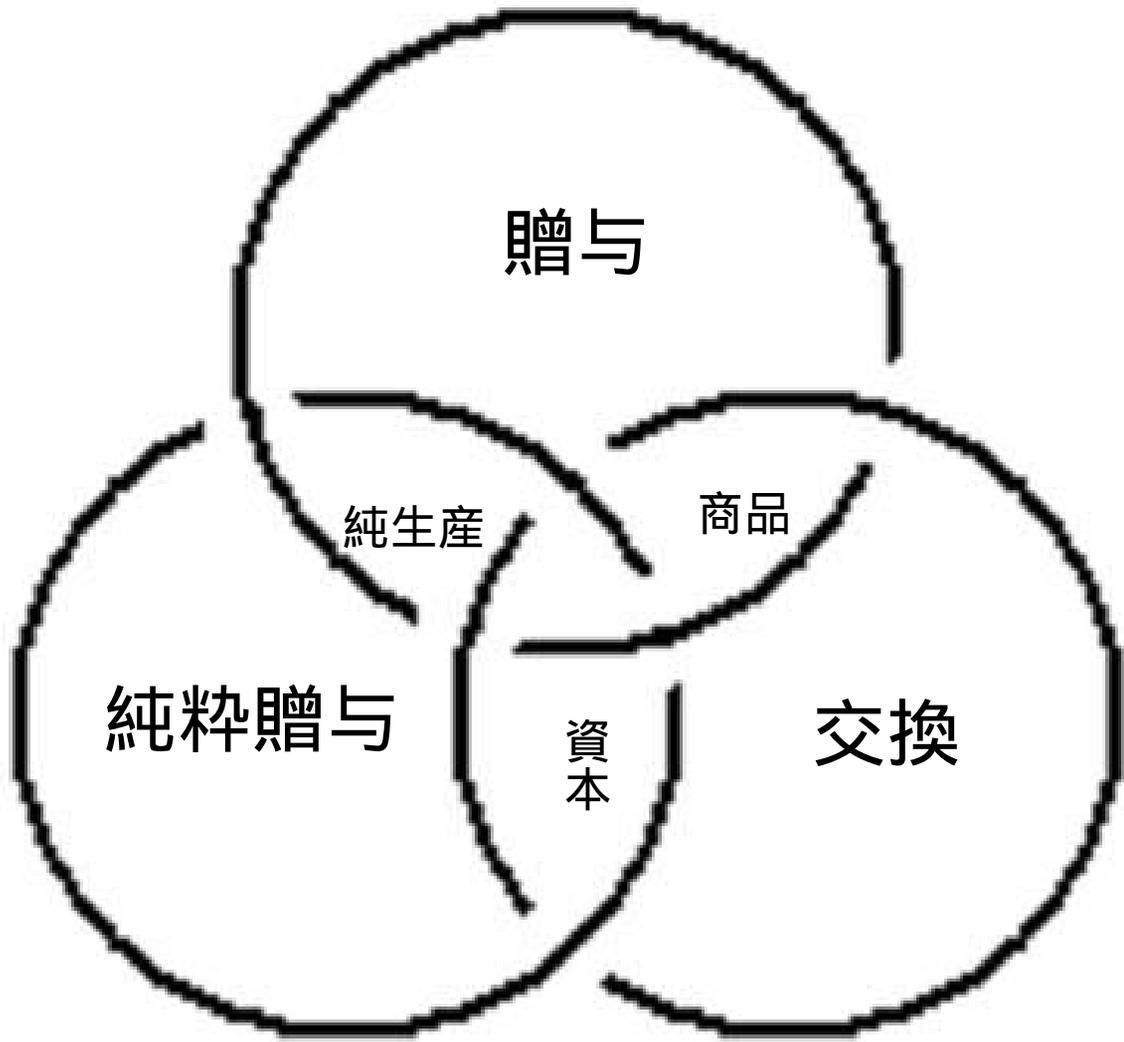
社会的交換
(贈与)



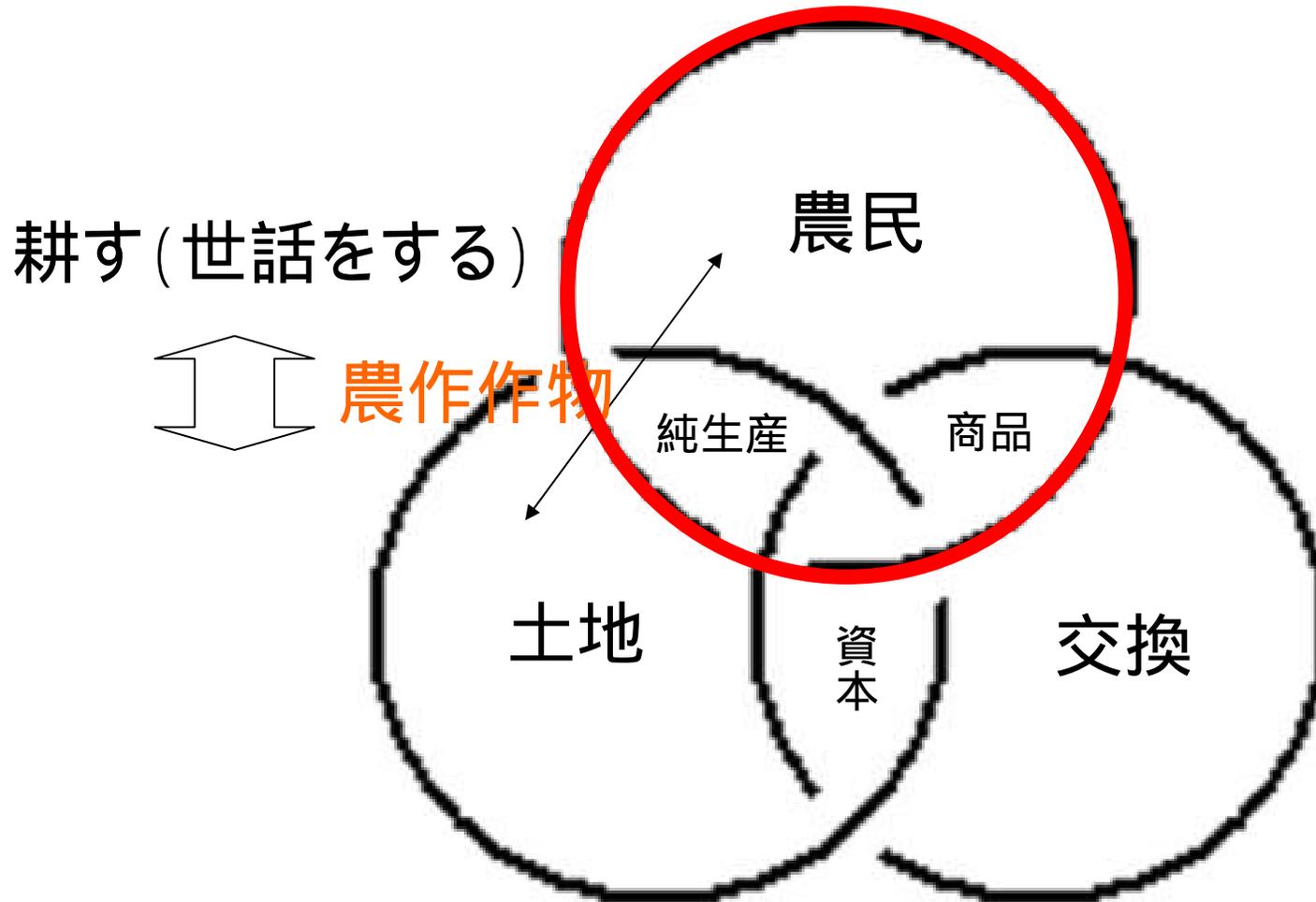
経済的交換
(交換)

Googleは
贈与 / 交換 の
バイナリーでは
とらえきれませんでした。

普遍經濟學



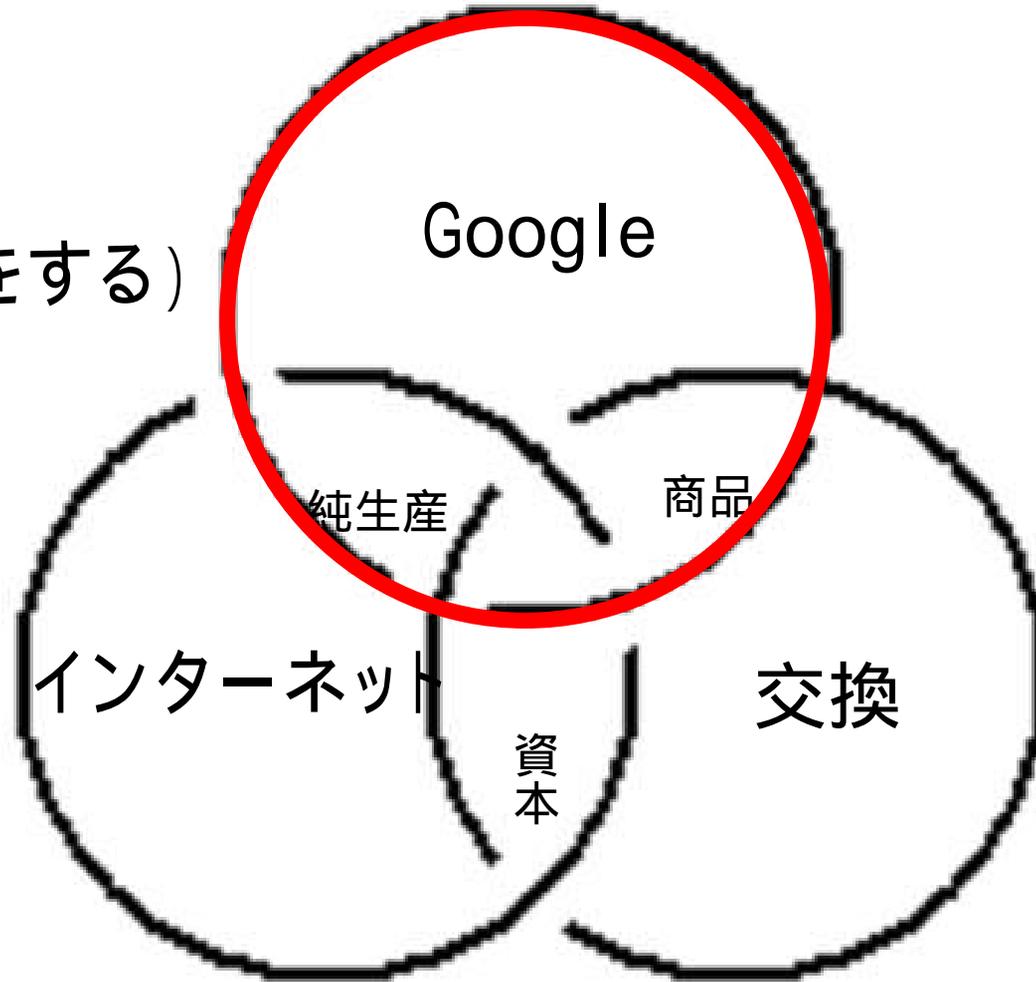
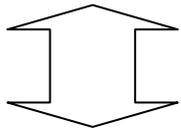
農業の三位一体モデル



交換は後から接続されることで
純生産が商品に転換する。

インターネットの純粹贈与仮説

耕す(世話をする)

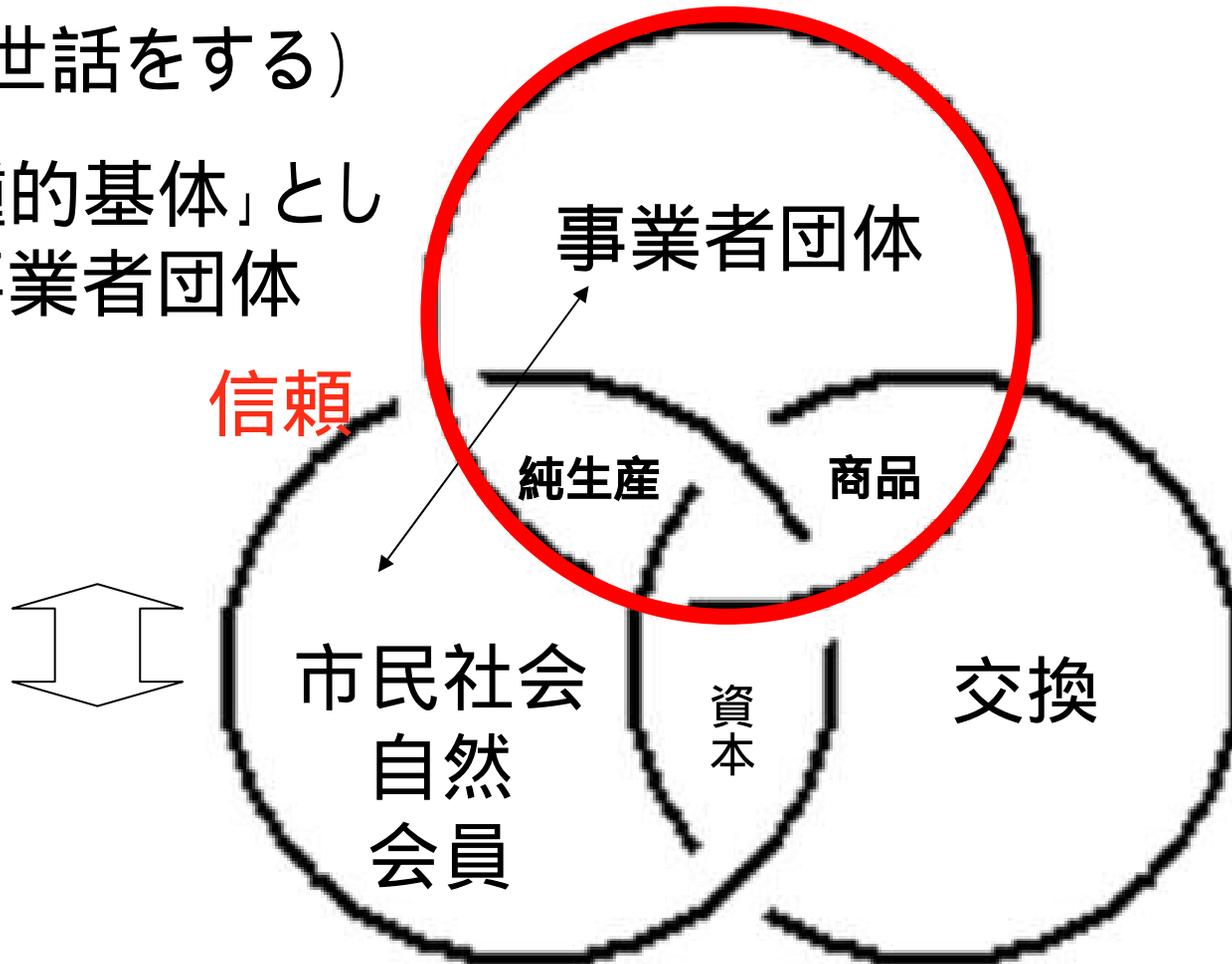


Googleの
目的とは？

事業者団体の三位一体モデル

耕す(世話をする)

その種的基体としての事業者団体



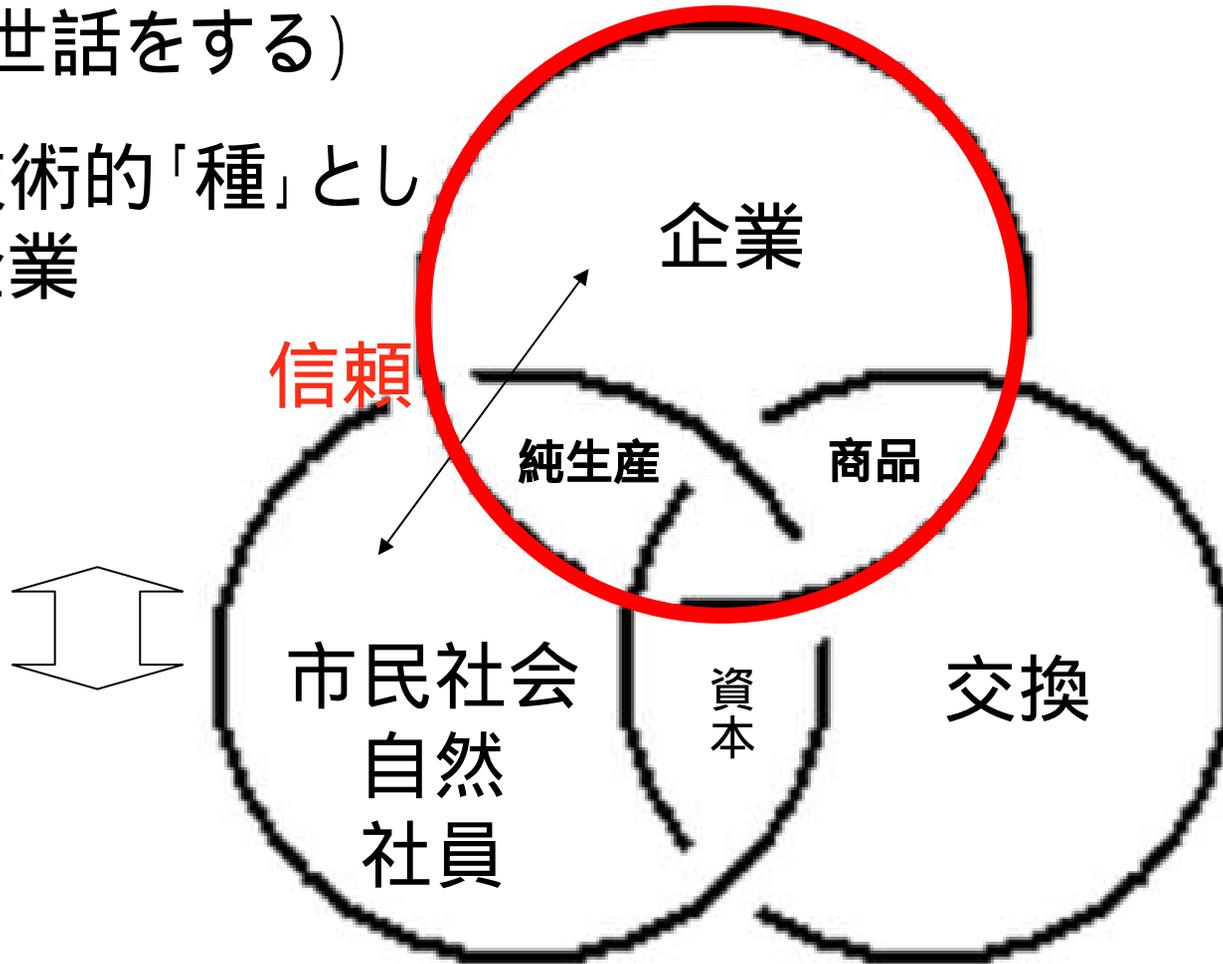
交換は後から接続されることで
純生産が商品に転換する

御社の
目的とは？

企業の三位一体モデル

耕す(世話をする)

その技術的「種」としての企業



交換は後から接続されることで
純生産が商品に転換する

信頼はメタ情報である。

つまり

コンプライアンスの強調。

信頼は
お金儲けだけでは
生まれません。

贈与と純粋贈与が
必要です。

贈与 = 種的基体 = 中景

地域社会・学校・企業・事業者団体・家庭

育てるのに時間がかかるもの。

純粹贈与。

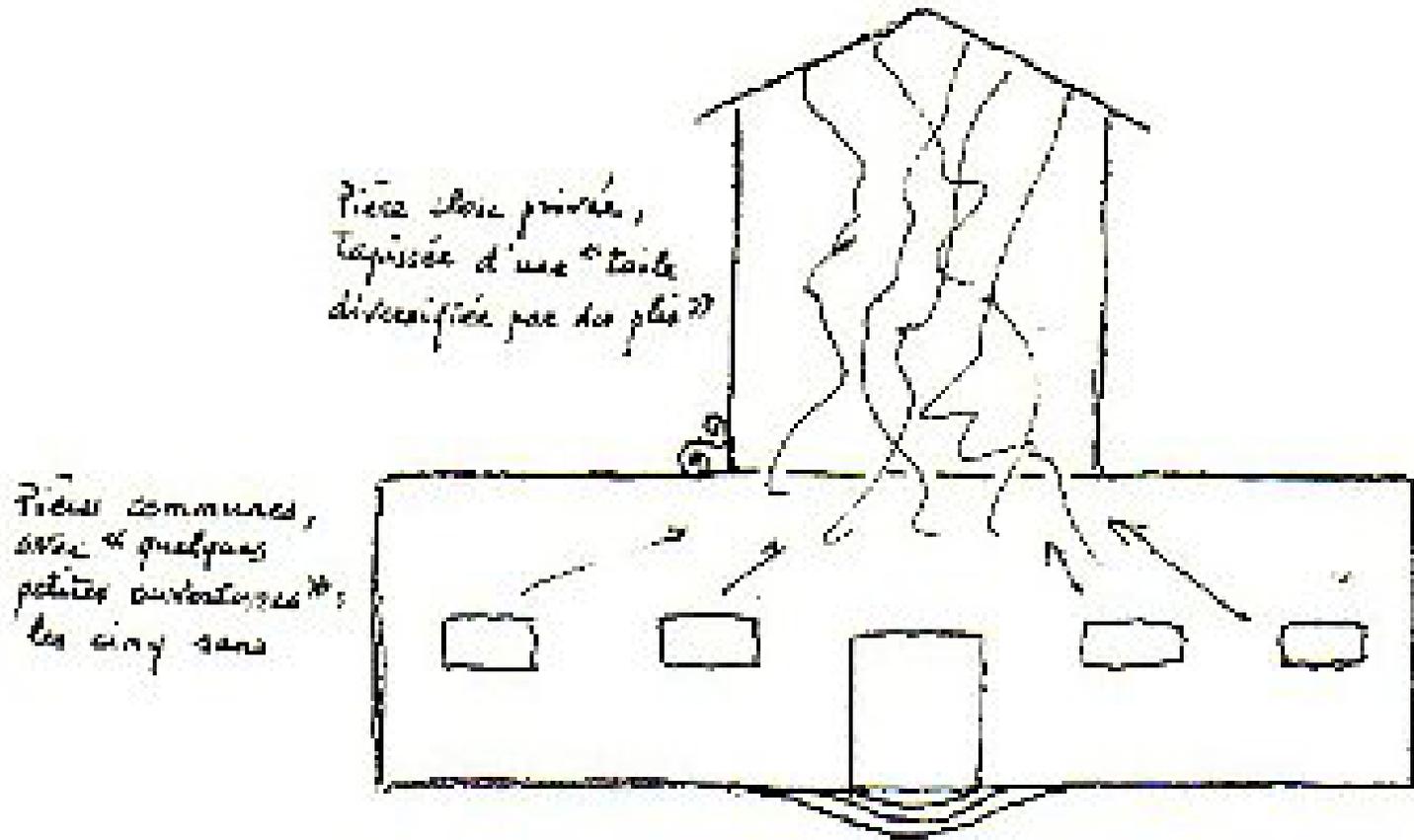
人間の自然を含めた
自然。

市民社会、社員。

純生産。

贈与共同体が
純粹贈与に働きかける
ことで増幅されるもの。

モナド ライプニッツ的個



- La maison baroque -
 (allégorie)

(ジル・ドゥールーズ, 『襞』, p11)

Web2.0

それはWeb化する現実
現実化するWeb
という

大きな流れです

大きな流れ

検索エンジンナビゲーション

ファインダビリティ

見つけやすさ

Tagging

Social Tagging、つまりはFolksonomy
階層分類学としての分類ではない。つまり
ユーザーの手で自由に分類するという
こと。

Participation

Not publishing, つまり出版のように押し付けではなく、ユーザーが参加して作り出すコンテンツ。

Blogs

とりあえずは
大きな動きで流れて
それ以上の
スピードで
流れることで
独自性を保つ

機能分化社会

P・F・ドラッカー

「企業は二つの、そして二つだけの基本的な機能を持つ。それがマーケティングとイノベーションである。マーケティングとイノベーションだけが成果をもたらす」

コミュニケーション定義

情報 / 伝達 の差異の理解

ニクラス・ルーマン

情報の持つふたつの意味

- ・インフォメーション
- ・インテリジェンス

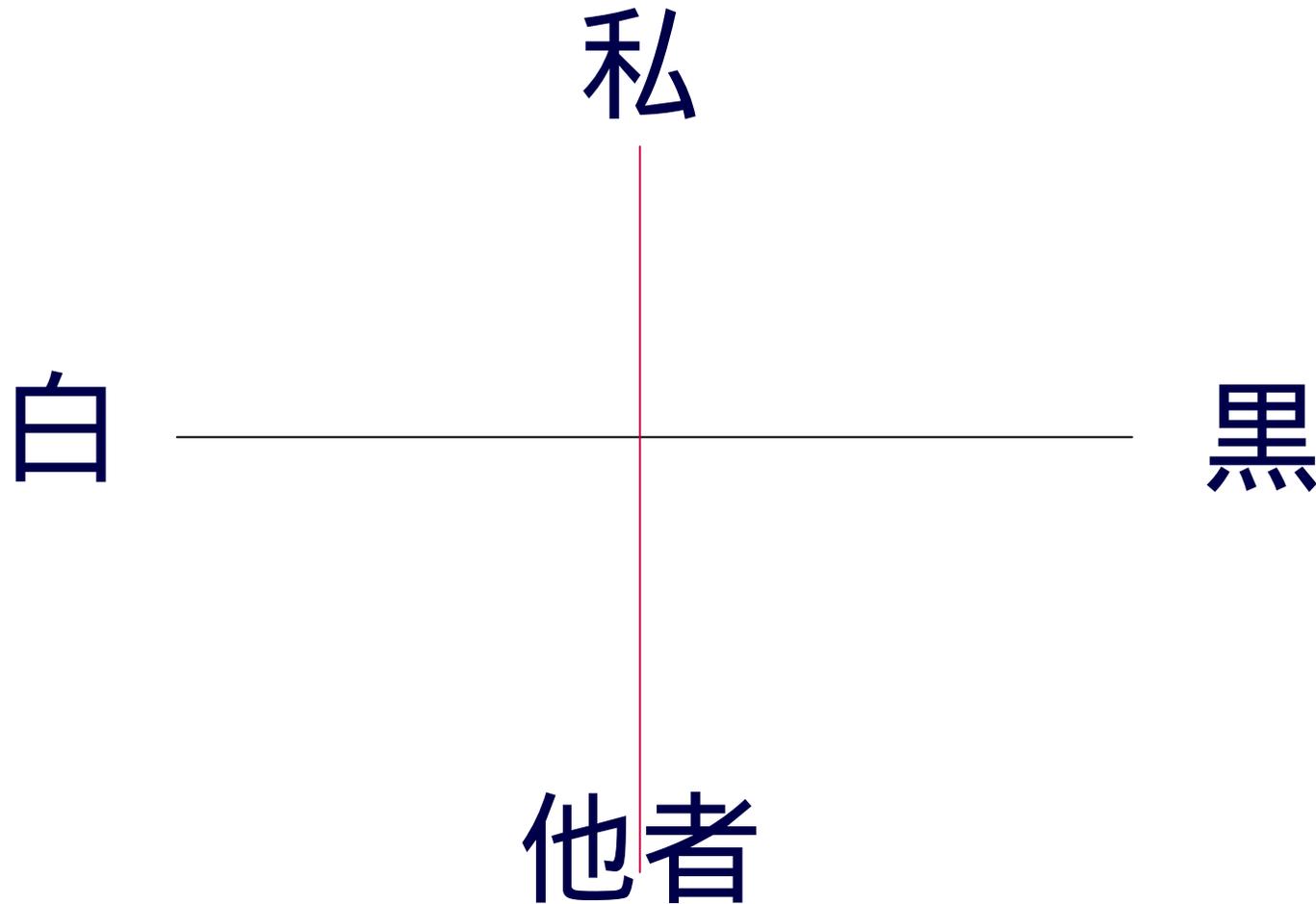
日本人には
この区別ができていない方が
多いようです。

白黒思考 = 線を引くこと
思考しないでそうしている
ことで、 情報 / 伝達 の差異
の理解ができていない。

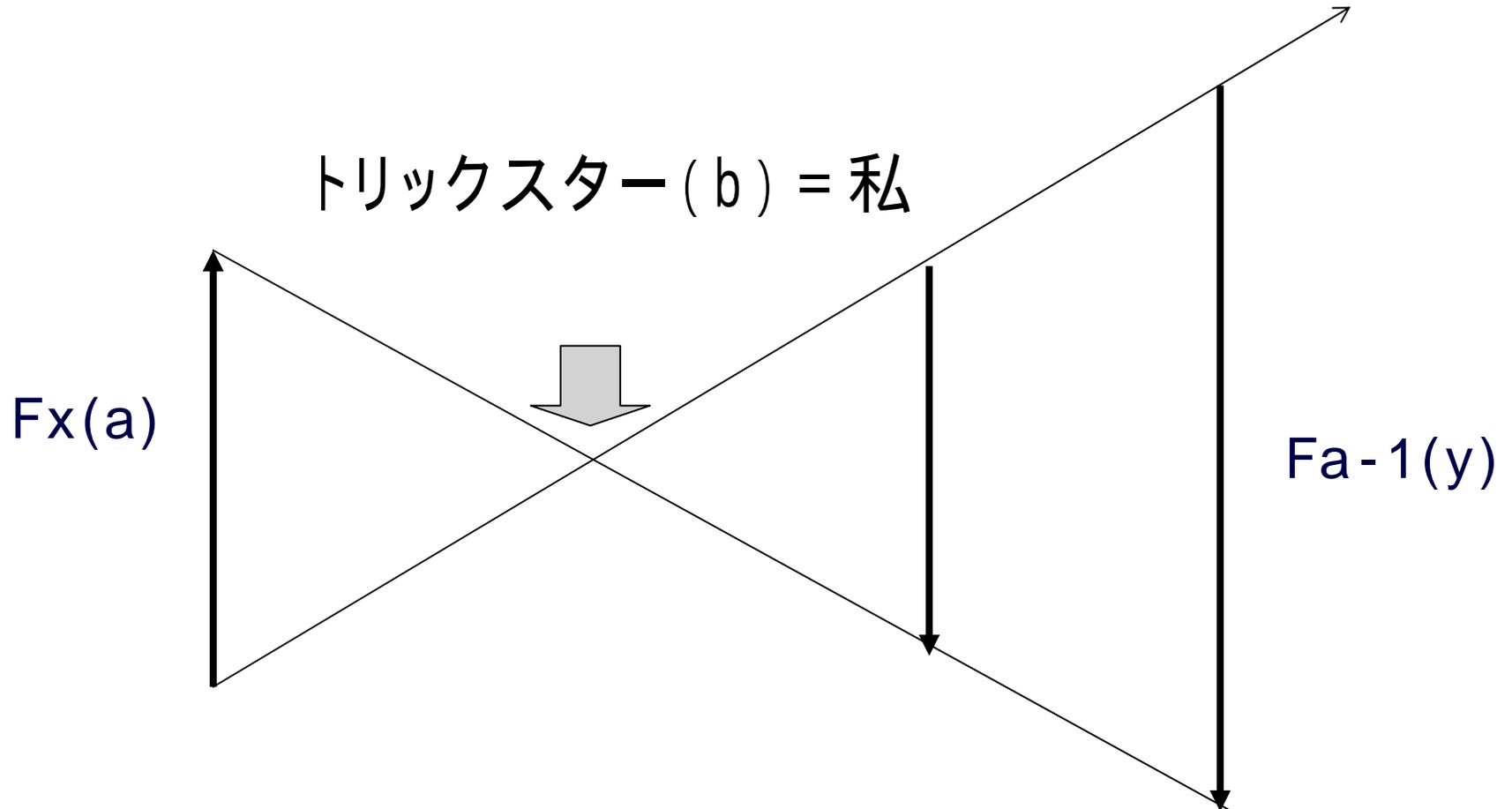
白

黒

思考すること = 私を置くこと
もう一本線を引くこと



時代の流れにひねられないこと



$Fx(a) : Fy(b) \sim Fx(b) : Fa-1(y)$
 (: はアナロジー関係)

バカ^ッの壁

$$y = ax$$

情報を発信することで

情報を見る能力

(メディア・リテラシー)も高まる

ことで情報を発信する能力

(信頼される能力)も高まる

スパイラルの形成

これをIT化という

係数 a をはぐくむ こと

種的基体・中景の仕事

理念と目的をもって
情報を
発信すること！

閉じから開放へ

ももちどっとこむ

ご清聴ありがとうございました。

桃知 利男



E-mail pinkhip@dc4.so-net.ne.jp

URL <http://www.momoti.com/>

ご面倒でも私宛の連絡はメールでお願いいたします。